

# 光一中だより

## 教育目標

- 自主的に学び、考え、実行する人
- 心豊かで、ともに助け合う人
- 健康で、勤労を愛する人



練馬区立光が丘第一中学校  
校長 山谷 安雄  
令和4年度 第3号  
令和4年6月2日

## 3年ぶりの運動会

校長 山谷 安雄

5月に入って1年生から3年生までの各クラスの授業を副校長とともに参観しました。落ち着いた中での授業で、多くの生徒は集中して参加していました。特に3年生は昨年度の1月に参観したときに較べて多くの生徒の成長を感じる授業の取り組みでした。

いよいよ今年度初めての学校行事の運動会が4日（土）に実施されます。1年生から3年生の全員が中学校初めての運動会です。生徒会のスローガンも「創る、楽しむ、新たな伝統」です。新しい一歩につながる行事になってもらいたいです。思い起こせば、新型コロナウイルス感染症が日本に広がって、3年目になります。今の3年生は6月の分散登校で学校がスタートした生徒たちです。すべての行事が中止になった1年目、2年目は中止や延期の行事のなかで、感染の波の間でいくつか実施できた行事がありました。そして、3年目の今年は感染に十分注意してすべての行事を実施する方向で考えています。

ところで、気温が上がってきて体が気温に十分慣れていないと熱中症の危険が出てきます。熱中症は、江戸時代から存在していたそうです。中暑（チュウショ）や霍乱（カクラン）という言葉で江戸時代の文献に書かれているそうです。意味は、「暑気あたり」を指しています。私が子どものころは、日射病と言われていた気がします。真夏の暑いときに激しい運動をしたときに立ちくらみや手のしびれ等いろいろな症状が出てきます。特に、久々に運動をすると軽い熱中症と思われる症状に私自身かかった記憶があります。生徒たちは日頃から体育の授業や部活動で体が慣れているので、今のところ保健室で少し休めば回復する程度の体調不良で済んでいます。しかし、本番の運動会では、クラスのために今まで以上に力を発揮します。無理をしすぎると熱中症になりかねません。その時は躊躇なく救急車を要請していきます。「何で、この程度で」と病院で叱られることもあるかもしれませんが万が一を考え判断していきます。

さて、文部科学省と厚生労働省から「子どものマスクの着用について」というパンフレットが練馬区教育委員会経由で届きました。「夏場の熱中症防止の観点からマスクが必要ない場面では、マスクを外すことを推奨する」という内容です。そこで、本校では、運動会予行の時に生徒に説明して運動会当日や運動会練習や部活動、屋外の活動ではマスクの着用を求めないことにしました。また、従来通りマスク着用を希望する生徒には着用を認めていきます。最終的にマスクを必要としない社会に戻ることを期待してきたいです。